

RENMEIみやぎ



仙台うみの杜水族館に行ってきました。南三陸町で発見された白いウニを見るためです。直径12cm程のキタムラサキウニが展示されています。南三陸町の歌津の海で発見したのは、小学6年生の阿部大斗君です。「みんなに見てもらえることがうれしい」と8月7日に水族館に寄贈したそうです。「管足」と呼ばれるトゲの先まで真っ白です。みなさんも一度はうみの杜水族館に足を運んで白いウニを見てください。

(H30年8月26日 中村撮影)

目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2~4P
宮城県看護連盟会長を終えて	5P
日本看護連盟通常総会	6~7P
宮城県看護連盟通常総会	8~9P
会員研修(2)「世界の看護最前線」講師：只浦寛子先生	10~11P
北海道・東北ブロックポリナビ in 青森	12~13P
都道府県看護連盟新任会長研修会	14P
会員研修(1) 国会議事堂見学	15P
会員募集	16P



会長挨拶

宮城県看護連盟会長 中村 恵美子



連盟会員の皆様 日頃より看護連盟事業につきまして、温かいご支援・ご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

今年の夏は猛暑で命の危険を感じるほどの気温が続いております。日本だけではないようですが40度を超えるところもあるようです。7月から日本列島では30度から38度というところが多くなってきており、40度以上というところも更新されています。熱中症で救急搬送された方も多くいました。

そのような猛暑の中、7月に西日本に激甚災害があり日本中の人たちが心の痛む思いをしました。と同時に7年前の東日本大震災がフラッシュバックした人も多かったのではないのでしょうか。しかし、私たちが苦しんだとき日本全国からたくさんの支援を頂きましたね。

仙台の街中を全国から来た他県ナンバーの車が走っていました。北海道ガスの車・各県から来た工事関係の車・役所の職員を派遣してくれた県もあります。私達も「自分が今できる事」を必死でやりました。復興が終わったとは言えませんが皆さんの努力とたくさんの方の支援があったのも事実です。たくさんのボランティアや自衛隊員の搜索活動も心強いものがありました。

今、西日本の被害にあわれた方々に思いを寄せるとき、励ましのメールと募金くらいしかできないことに歯がゆい思いがいたします。

7月に宮城県看護連盟の会長を仰せつかってから、少しずつ連盟の勉強に本腰を入れていますが、その中で分かったことは第一に宮城県は会員が少ないということです。協会員数の6分の1の会員しかいなくて東北・北海道ブロックの中でも青森に続いて2番目に少ない数です。47都道府県では率で言うとワースト3に入るのではないかと思います。8月2日に日本看護連盟会議室で新任会長の研修がありました。後ろにまとめていますのでご覧ください。

連盟の年間予算は10億でその半分は研修を企画運営する各ブロックに返しているそうです。各都道府県ブロックで行う研修には、新人研修・リーダー研修や看護管理者研修等もあります。必要な研修をたくさん行って本部の予算を使ってほしいと草間会長が話していました。私の使命の一つは、会員を多くする努力だと思いました。地道に病院訪問をし、連盟活動がなぜ必要なのか理解してもらう必要があると認識しました。



参議院選 目前に迫りました!! 日本看護連盟会長 草間 朋子

今年の夏は猛暑・酷暑、災害規模の暴風雨などが全国を走り抜け、先行きを心配させられる異常気象が続きました。暴風雨により甚大の被害を受けられ、地域のみならず心からお見舞い申し上げます。

さて、平成29年度の日本看護連盟総会において参議院選の組織内候補予定者として決定していただいた石田まさひろ参議院議員が、自民党から「第25回参議院議員通常選挙 比例代表候補者」として第一次公認を得ることができました。舞台は整いました。

現場に山積する看護の課題は、看護職自らの力・手で政治を動かし解決していかなければなりません。世の中では、若者を中心とした政治離れなどがささやかれておりますが、私たち看護職は、しっかり政治と向き合い、看護に関する課題を解決・実現し、質の高い看護を提供できる環境を整えていくために、「選挙に行こう」を合言葉に日本看護連盟、都道府県看護連盟、「石田まさひろを応援する会」、そして日本看護協会、都道府県看護協会のみならずと丸となり、看護職を代表する議員を全力で応援していきましょう。



石田まさひろさんの更なる活躍をみんなで支えよう

石田まさひろを応援する会会長 清水 嘉与子

保健師助産師看護師法が制定されて70年。GHQの力を借り専門職めざしてスタートした看護教育も3年後には議員立法で准看護師が誕生し、見る見るうちに看護師数を上回る状況が長いこと続いてきました。石本茂議員の入党が与党の看護政策充実につながったのは有難いことでした。その後も絶えることなく看護の代表が活躍してきました。人材確保法をきっかけに今では大学の1/3に看護課程ができ、准看から看護師への道も拡大し全就業者に占める准看の割合は2割にまで縮小。働く場所も医療機関から地域へと広がってきました。少子高齢社会を看護職がしっかり支える条件が揃いつつあります。看護界に優秀な人材を引き付け、働き続けられる環境を整えるために看護の代表にはさらに活躍してもらわなければなりません。石田まさひろさんは一期目にして素晴らしい活躍ぶりに全国会員はもとより、党内からも高い評価を受けています。次回選挙では会員の評価を高い票数で示そうではありませんか。



ごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。

私事、この度、2019年夏に行われる第25回参議院選挙 候補予定者(全国比例区)として自由民主党から第一次公認を頂きました。医療現場の最前線で日々奮闘する皆様が少しでもよい看護が提供できるよう、引き続き鋭意尽くして頑張っております。

7月末に閉会した第196回通常国会では、政権が最重要法案と位置づけた働き方改革推進法が成立しました。法律の一部を巡って与野党間で激しい対立が起こる中、私は厚生労働委員会の筆頭理事として野党との交渉役を務めました。非常に緊張感の高い局面を幾度も経験し汗を流す毎日でした。この法改正を通し、女性や高齢者活躍の推進、IoTやAIを用いた生産性向上等の政策が本格的に動き出します。

看護職の皆さんの現場にとっても大きなターニングポイントを迎えます。常に人手が足りない看護の現場ですが、潜在看護師の活躍促進やリタイア後の看護師が柔軟に働ける環境作りによるマンパワーの確保、増え続ける看護記録・書類をいかに減らし十分な患者ケアの時間をどうやって確保するか等、生産性向上に向けた果敢な挑戦が求められます。

一緒に看護現場の働き方改革について挑んでいきましょう！



ごあいさつ

参議院文教科学委員長 参議院議員 **高階 恵美子**

宮城県看護連盟の皆さまにはおかれましては、お健やかに過ごしのことと拝察いたします。酷暑の中、相次ぐ豪雨災害に心を痛めております。微力ですが、一刻も早い改良復旧をめざし、現場第一主義で対応を続けて参ります。幅広い年代の方が各地で看護の灯を必要としています。厳しい毎日ですが、互いに気持ちを強く持って、健やかに励んで参りましょう。

いのちの最前線に立つ看護職にとって、現下の働き方改革はこれからが本番です。労働形態の多様化と拡大する業務内容、要求される技術の高度化、それに伴う労働負荷の増大について、看護職は自ら現状を解きほぐし他者に伝える努力を強めなければなりません。これは容易ではありませんが、固有の専門分野であるが故に、一般社会で共通認識されるためにどうしても必要なことです。

看護連盟は目的を明確にし、こうした政治活動を共にしています。日々の成果は目に見えにくい小さな努力の積み重ねですが看護職全体に係る処遇改善と働き方改革を躍進させるために、これからも共にがんばりたいです。



ごあいさつ

衆議院議員 **あべ 俊子**

宮城県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年の通常国会では、予算委員会、財務金融委員会に所属し、無駄を省きつつ、国として国民を守るために譲れない、本当に必要な部分には十分に予算を確保していけるようしっかりと取り組んでまいりました。

一方党内では、今年も一億総活躍推進本部のプロジェクトチームの座長を務めました。担当したテーマは「多様な働き方の推進」、少子高齢化と人口減少の進行する中、男女を問わずあらゆる世代が活躍できる社会に向けて、より柔軟な働き方に関する提言を行いました。

これからますます本格的となる超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様の大きな力が必要です。看護職の皆さんが働きやすくやりがいをもって看護ができるよう、引き続き現場の声にしっかり耳を傾け、全力で取り組んでまいります。今後とも皆様からの温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ごあいさつ

衆議院議員 **木村 弥生**

宮城県看護連盟の皆さま、こんにちは。

7月22日、第196通常国会が閉会しました。

本国会では、2月23日の予算委員会第8分科会、5月2日、6月8日の厚生労働委員会、5月18日環境委員会にて質問の機会をいただきました。

5月2日は、働き方改革関連法案について。

看護職の労働環境改善に向け、勤務間インターバルの適正な確保・深夜業の回数の上限の設定を求めました。また看護師確保等基本指針が1994年に策定されてから一度も改定されていないことを踏まえ、夜勤負担軽減に向けた数値目標の記載などの改定が必要だと訴えました。

6月8日は、児童虐待防止・地域包括ケアシステム・誰もがより健康で働ける社会の3つのテーマに関して。虐待防止には、シングルマザーの自立就労支援、養育費の未払い対策が必要だとの考えを述べさせていただきました。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護と看護職のため、精一杯汗をかいてまいります。



宮城県看護連盟会長を終えて

宮城県看護連盟顧問 富田 きよ子

今年の夏は来る日も来る日も猛暑、猛暑で暑い夏でした。会員の皆様の体調はいかがでしょう。レベルの高い看護を提供するには、提供者である自分自身の健康管理も大切です。ご自身を大切にすると患者さんとの相互作用が成り立ち良い看護実践に繋がっていきます。日々の御健闘を心から祈っております。

在職中は大変お世話になりました。会員の皆様の御協力を頂き9年間の会長職を無事終えることができましたことを厚く御礼申し上げます。

思い起こせば第22回参議院議員選挙は無名だった、たかがい恵美子議員が21万票を超える票を獲得し上位で当選しました、宮城は全国4位(5,671票)の得票数でした。開票日の夜、国会議員、県議会議員の先生方そしてお布団に入られていた齋田トキ子名誉会員にも連盟事務所に来ていただき、みんなで歓びに浸りました。その時の感動がその後の看護連盟活動の大きな原動力になりました。たかがい先生が参議院議員になって8ヶ月後に東日本大震災が東北を襲い、全国の皆様から多大なるご支援を頂きました。ありがとうございました。

あの時多くの病院職員は家族をも顧みることも出来ずに、病院に泊まり込み災害看護のプロ集団として活躍しました。その働きぶりはおどろきの連続でした。このことを後輩に、看護師諸姉に伝えねばと思ひ病院訪問するたびに、この危機状況を看護管理者としてどのように乗り越えたかメモに残すよう伝え、後日それらをまとめて機関紙を作り全国に配信しました。また、頑張った看護部長さんを何とかしたいと考え推薦文を書き、石巻の齋藤病院の看護部長菊池里子様がヘルシーソサエティ賞を頂きました。お祝いの会では参加者の皆様が涙、涙で当時のことを語り合いそれぞれの労をねぎらいました。第23回、第24回参議院選挙(紙面の都合で割愛)も宮城は頑張り続けて今があります。石田まさひろ議員(当時は幹事長)は私と支援物資をもち、被災地の病院を一緒に廻ってくれたやさしい議員さんです。第25回参議院選挙もこれまでの実績をバネにして、国民のため、看護の発展のために共に頑張りましょう。

一緒に行動しながら、具体的方法論を教えてくださいました国会議員・県議会議員・市議会議員・町議会議員の皆様ありがとうございました。貴重な経験は顧問として宮城県看護連盟に伝え続け更に成熟した組織になるよう新会長さんと共に頑張ります。皆様の御活躍を心からお祈り申し上げます。



日本看護連盟通常

平成30年度日本看護連盟通常総会に参加して

仙台赤十字病院 高橋 友美

6月5日、ザ・プリンスパークタワー東京で開催された通常総会に参加しました。草間会長のあいさつで、看護の課題を実現していくためには、政策を実現していくための決断の場に看護の代表を送り出していくことが必要であること、「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに力強い看護連盟を目指すことが重要と話されていました。

「現場の声」活用促進委員会が日本看護連盟のホームページを活用し、アンケートを実施し、看護職国会議員へ結果を報告しています。その結果、夜間看護手当の増額の実現や、看護記録等の簡略化に係る政策に活用されたという報告がありました。今後は書類作成等の記録の合理化、簡略化が期待できるという報告は印象的でした。看護政策実現のためには現場の声を届けていくこと、看護職の代表を国政に送り出していくことが大切であると再認識しました。



総会開催

平成30年6月5日

ザ・プリンスパークタワー東京

平成30年度通常総会に出席して

総合南東北病院 高橋 明美

草間連盟会長と福井協会会長の挨拶より「看護政策実現の為、看護連盟と看護協会が結束し力強い組織になるべき」と看護に対する熱い思いが伝わった。

規約改正、事業計画に対し質問・意見が活発に行われ、特に若い男性会員の発言が目立ち、自分たちの職場を守るという意気込みを感じ頼もしさを感じた。

来年の選挙は、知名度を上げるためにも高得票の獲得は必要という事であり、会員の積極的な姿勢が望まれ身が引き締まる思いであった。



日本看護連盟通常総会に参加して

石巻赤十字病院 阿部 和枝

平成30年度の通常総会は6月5日、ザ・プリンスパークタワー東京で開催されました。

宮城県からは、会長支部長初め総勢35名ほどが参加しました。世界に類を見ない少子高齢化、人口減少社会を迎える日本において、医療保険福祉などのあらゆる場で活躍する看護職は重要な職種であります。草間会長のあいさつでは、看護職種が明るく楽しくプライドを持ちながら専門職として自律した能力が発揮できるよう就学環境・就労環境を整えていく必要性があるとのお話をされていたと思います。そのためには、現場の声を国政に届けるとともに、政策決定の場に看護職の代表を確実に送り出すことが重要になります。第25回参院選での目標30万票実現に向けて看護師一人ひとりが成熟・自律した活動をしていく必要性を改めて実感した総会となりました。

宮城県看護連盟通常

平成30年度宮城県看護連盟通常総会に参加して

東北公済病院 安藤 美佳子

平成30年6月30日、仙台ガーデンパレスにて宮城県看護連盟通常総会が開催されました。国会議員、宮城県議会議員、仙台市議会議員、名誉会員など多くのご来賓があり盛大に執り行われました。更に、宮城県看護協会の佃祥子会長を今年もお迎えし、宮城県の看護協会と看護連盟の結びつきの強さを感じました。

平成29年度の報告と提案された第1号議案から第5号議案は、高橋ひとみ、森竜子議長のスムーズな進行のもと全て承認されました。第1号議案では「ベッドサイドから政治を変える！」のスローガンが決議され、また第4号議案では次期参議院議員選挙の宮城の比例区は厳しい状況にあり石田先生は看護の力で票を集めようと決議されました。

この総会で会長を終わられる富田きよ子宮城県看護連盟会長のご挨拶では、任期中の選挙においては3戦3勝であったとのこと、これまでの、経緯や看護への熱いお話がありました。その後、新会長へとバトンが渡され、来る参議院選挙に向け着実に行動を起こして行かねばならないと感じました。



総会 開催

平成30年6月30日
仙台ガーデンパレス

宮城県看護連盟通常総会に参加して

広南病院 村上 則恵

総会当日は、朝から6月とは思えない暑さで、30度を超えた日でした。会場内は、とても過ごしやすく参加できました。しかし、会長のあいさつで今回で富田会長が辞任するという発表に驚いてしまいました。長年連盟を支えて頂き富田会長ありがとうございました。

総会では、30年度のスローガン『ベットサイドから政治を変える!』という事が言われました。人々が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを生涯通して続けられることが、出来るよう地域包括ケアシステムの構築が進められています。そのため私たちが出来る看護職の代表を国政の場に送り込むことで暮らしと医療を支える生活が出来ます。スローガンに向かって力強い組織づくりが大切と感じました。



講師

只浦寛子先生

会員

宮城県看護連盟通常総会特別講演会に参加して

宮城県立こども病院 小畑 正子

平成30年6月30日(土)「世界の看護最前線」というテーマで、国際医療福祉大学大学院教授只浦寛子先生の特別講演会が開催されました。先生はドイツで8年間研究を行い、米国、北欧、アフリカなど世界各国の病院で臨床経験、研究を行っている方で、世界の看護最前線にある看護とはなにか、世界ではいま何が起きているのか、地球環境レベルから看護を考えると、実に壮大なテーマでした。

宇宙飛行士の無重力状態における廃用症候群(正常の生活に戻るまで数ヶ月かかる現実)。患者さんを、寝かせてそっとしておく、拘縮が進み変形し、肺炎、誤嚥性肺炎等を引き起こす。また、ご自分の研究につながる山形大の学生時代の檻の中に入っていたうさぎが、糞だらけで、体は生きているが、間もなく死んでしまった「檻の中のうさぎ」を例に、「運動は生命のルール—人間は運動依存の生物である」と、東大の跡見順子先生の「人は地球という重力磁場において動きを生存の原則として生きており、運動は絶え間ない遺伝子への働きかけである」という言葉を用い説明していました。

また、看護は、ケアを提供する側(人)とケアを受ける側(人)の、タッチとムーブメントを通じた、相互作用(インタラクション)にある。初めて聞く、キネステイク(Kinaesthetics)は、人間の生活の中心的基盤の1つである運動能力を扱う経験科学の用語で、例えば、端坐位になる時、エアマットは使用せず少しやわらかく硬いマットを使用し、患者の小さな力で、他者の一般的な動きの支援のみで、まるで自分で動いたような感覚を持てるような、患者の内側のシステムに働きかけるメカニズムであるということでした。自分と他者の「いのちのニーズ」の充足は、長く生きるのではなく、今生きることが、いのちの輝きのニーズ(純粋な魂レベルの欲求)と言う話に感激しました。

私の勤務しているこども病院では、「すべての子どもにいのちの輝きを」宮城県小児総合医療整備基本計画基本理念により、年報と広報紙は「いのちの輝き」とネーミングされています。一人ひとり、大人も子どもも、「いのちの輝き」を目指すことが大切であると再認識しました。

最後に「勇気を持って理想となる看護を!」「夢を叶える勇気」という日野原先生の言葉を教えて頂きました。

研修(2)

平成30年6月30日
仙台ガーデンパレス

特別講演テーマ「世界の看護最前線」を受講して

広南病院 後藤 志緒利

世界の最前線は私が想像していた近未来的で莫大な資金を要する看護にあるのではなく意外にも「守破離の精神」が関係していました。「守破離」とは主に武道・茶道・芸術などにおける修業の理想的なプロセスを3段階で示したものですが、看護においても当てはめることができます。「守」は教えや型を忠実に守り確実に身につける段階。「破」はよりよいものを取り入れ、自分なりのやり方を模索するという型を破る段階。ここまでは日本の看護でも十分に行われていると思いますが、最前線となると「離」の段階まで進んでいます。「離」とは型から離れて新しいものを生み出す段階です。現に日本では全人的に患者を捉えると学びますが世界の最前線では患者を地球環境で捉えており、ボディメカニクスではなくキネステティックを用いてケアを提供していました。ケアを提供する側と受ける側の相互作用がより良いものとなるよう「離」を目指していきたいと思っています。



北海道・東北 ブロック

ポリナビ in

平成30年度「北海道・東北ブロックポリナビin青森」に参加して

宮城県看護連盟青年部委員長 藤井 純

この度、平成30年7月14日(土)に平成30年度北海道・東北ブロックポリナビ in 青森に参加してまいりました。当日は、7道県から約100名の参加者が集まりました。青森といえば、「ねぶた」「リンゴ」が有名な印象が強くなっている。しかしその反面で、青森が抱えている問題がある。①検診率・受診率の低迷 ②医療従事者の不足 ③飲酒・塩分・煙草の摂りすぎ といったものが挙げられた。今回ブロックポリナビを主催した青森県看護連盟青年部も、青森の負のイメージが多くこれらを問題提起し「短命県返上」を目指す青年部員の願いが強く込められた内容であった。

今回講師の小野寺晃彦青森市長は、平成28年11月の就任から高齢化の進展に備える【やさしい街】づくりをすすめて、①地域医療の再生 ②障害者・高齢者に優しいまちづくり ③地域包括ケアの推進 を現在も進め市民の暮らしを守る政策をされています。また年齢が私とも近く、若さあふれる政策で地域の活性化につなげるため、チャレンジし続けています。青森の今までなかったものに挑戦し、青森を生まれ変わらせるようと活動している熱意が伝わってきました。「やさしい街づくり」が今後さらに進み、今回挙げられた負のイメージが解消され、「体にやさしい街」となってほしいと願っております。

講演後に「短命県返上を考える」をテーマに、3つの問題点について担当するグループを分けてグループワークを行った。私のグループでは、医療従事者不足について話し合いを行いました。青森県は医療系大学、専門が多く全国から集まってくる。しかし、卒業とともに離れてしまい居残るものが少ないうえに、故郷が青森であっても、都会へ出てしまうため、医療従事者が少なくなっているとの意見が多かったです。意見が活発に飛び交い、気が付くと時間になっていました。

青年部に入って3年となります。毎回思うことですが、青年部が主として企画・運営したポリナビが無事に終了したときは嬉しいですね。今回青森でのブロックポリナビが成功し、楽しく参加することができました。来年は北海道での開催です。また、次に繋げられるように応援し今後も連携を図り協議を続けていきたいと思っております。



青森開催

平成30年7月14日
青森国際ホテル

北海道・東北ブロックポリナビワークショップin青森に参加して

宮城県看護連盟青年部 西條 裕彬

私は当日、プログラムの一つであるグループワークのファシリテーターを担当しました。これまで経験したことのない役回りを務めることは不安であったが、実際にグループワークが始まると、ファシリテーションの余地が無い程に、白熱して議論が進行しました。また、小野寺市長の講演においても、設定された時間を超過する程、活発な質疑応答が交わされました。全体を通して活気に満ちたポリナビであり、とても楽しかった。運営に携わっていた青森県看護連盟青年部の雰囲気作りを参考に、宮城県でもより良いポリナビが開催できるよう、今回の経験を活かしていきたいと思います。



都道府県看護連盟新任会長研修会

平成30年8月2日 日本看護連盟

宮城県看護連盟会長 中村 恵美子

平成30年8月2日(木)日本看護連盟会議室において新任の会長研修会があり、福岡・和歌山・栃木・宮城の4県の新任会長が研修を受けました。

午前は草間会長による「新任会長へのお願い」で活動の最前線は都道府県の連盟であると話し、現場で困っていることを声として伝えることからスタートする、まさにベッドサイドから政治を変えていくのだと言っていました。

現場の課題を政治・行政を動かすことのできるデータとして示す、エビデンスの提示が必要とのこと。法制化しないと財源の確保もできません。

例えば平成4年の「人権法の制定」で自治省が公立(県立)看護大学に設置のための予算を取ったこと、平成21年「保助看法」「人権法」の改正で新人看護職に対する研修の努力義務化、平成26年「保助看法の改正」特定看護師に係る研修制度などにおいて予算がついている。看護の課題は看護師が解決していかなければならない。そのために政治の力・行政の力が必要なのだ学びました。続いて連盟幹事長より、規約・規約の細則・内規・申し合わせ事項について講義がありました。総会の代議員が200人に1人のところ400人に1人と変わったこと、各ブロックの研修やポリナビ等若い看護師が政治に関心を持って行動するように会員を増やしてほしい、そのための予算は取って本部から回すと言っていました。

午後は選挙に向けての取り組み、政治資金規正法について常任幹事・連盟本部課長などの講義があり、先輩会長の富山県の会長から「都道府県看護連盟会長の役割」について話を聞きました。最後に日頃疑問に思っていることなど話し合い、中身の濃い研修会でした。

これから、学んだことを役員や支部長と共有しつつ会員を増やしていけたらと思います。



会員研修(1)

平成30年6月6日

日本看護連盟

国会見学に参加して

仙石病院 武田 公仁子

日本看護連盟の総会、高階恵美子議員の国政報告会、石田昌宏議員の来年の選挙へ向けて力強い再選への応援が披露された決起大会、そしてあべ俊子・木村弥生両議院の国政報告会に出席しました。看護職の代表である議員の方々の「なま」の声を聴くことができ、会場が熱い思いに包まれるような一体感がありました。私たち現場で働く看護師の代表として重要な役割を担っている自負と責任を持ち、国の政策に反映させるべくご活躍なさっている頼もしさを感じました。そんな興奮が残る中、国会見学では宮城県選出の土井亨議員や小野寺五典防衛大臣、愛知治郎議員などといっしょにすることができました。地元ではなく、国のまさに中央である場所でお会いしたせいかととても自信にあふれた顔をなさっているように感じました。働き方改革がクローズアップされている中、看護職としては夜勤体制など多くの労働環境改善への課題があります。地方議員の方々との日頃からの関わりや結びつきが大切であり、議員の皆様には私たちのためにベッドサイドからの意見を取り上げ、是非力になっていただきたいと思いました。高い位置にある席から本会議を傍聴していると、前日の熱い国政報告会を思い起こし、このような静粛な場で質疑をなさるなどのご活躍されている様子を頭に描くことができました。高階・石田両議員の事務所も見学させていただき、貴重な時間を過ごすことができました。また、前日残念ながら決起大会にどうしても出席できなかった石田昌宏議員が、貴重な時間の合間を縫って私たちにご挨拶して下さいました。議員としての貫禄が感じられ、改めて来年の選挙では是非とも当選させなければという思いを強くして議事堂を後にしました。

研修会のご案内

ポリナビワークショップ in 仙台

平成30年11月3日(土)

仙台ガーデンパレス 10:00～12:30

講演:「Nurseのおもい伝えよう!」

～私達の悩みや思いを聞いてください、石田先生～

講師:石田まさひろ参議院議員

会員研修(4)

平成31年1月11日(金)

仙台ガーデンパレス 14:00～16:15

講演:看護政策のあゆみ

講師:清水嘉与子(石田まさひろを応援する会会長)

講演:国政報告会

講師:石田まさひろ参議院議員



水と、空気と、睡眠と。

ルモーネ

Lumone

GOOD DESIGN

マウンテンキルト掛けふとんが2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

東洋羽毛では睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。



030-180821-1



水と、空気と、睡眠と。

TUK 東洋羽毛

東洋羽毛北部販売株式会社 仙台営業所
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目29番地の13
HP以外 <http://www.toyoumo.co.jp> フリーコール 0120-023-337



Standard Model

冠婚葬祭や公式行事に、女性を美しくコーディネートする
クイーンパールのスタンダードモデルの本真珠セットです。



クイーン・パール

Since 1994 23th Anniversary

0120-004-083

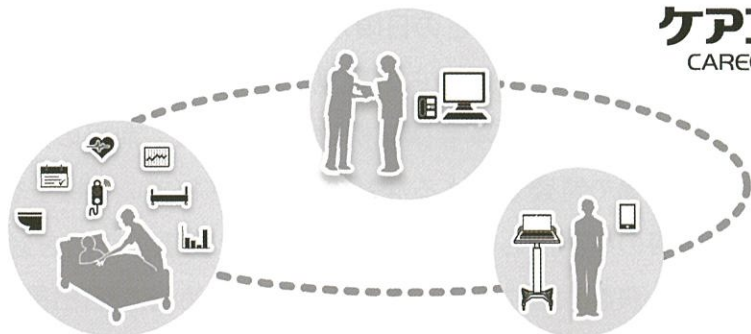
仙台市太白区茂庭台4丁目3-11

www.queen-pearl.com

病棟業務支援プラットフォーム

NICSS-EX8

NICSS-EXは
あらゆる看護情報を、
どこにいても、
必要な方たちで提供します。



ケアコム
CARECOM

株式会社ケアコム【仙台支店】 〒981-0911 仙台市青葉区台原 4-11-33 サンハイツ台原 2F
Tel. 022-272-8781 (代) Fax. 022-272-8783 <https://www.carecom.jp/>



会員募集!

あなたの力が連盟活動を支えます。
職場の声を国政に反映させましょう!



- 正会員 (年会費) 8,000円 (本部会費5,000円 県会費3,000円)
- 特別会員 (年会費) 8,000円 (正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会員に入会していない方)
- 賛助会員 (年会費) 2,000円 (看護連盟の趣旨に賛同していただけの方であればどなたでも入会できます)
- 学生会員 (年会費) 無 料 (看護学生で看護連盟の趣旨に賛同していただけの方)

お問い合わせ(事務局)

TEL. 022-293-1720 FAX. 022-293-1727
E-mail: renmei-miyagi@lily.ocn.ne.jp